



## 5.3 憲法フェスティバル茨城



5月3日(日)憲法記念日に水戸・千波公園・ハナミズキ公園で憲法フェスティバルが開催され、茨城県内から800人が集いました。

### 参加者の交流会

午前中は、県内から集まった参加者の交流会が行われました。

国民救援会、原発NO、沖縄・平和パネル展、九条絵手紙展など、各参加団体のテントは大勢の人でにぎわっていました。

9条交流会のテントでは、田村武夫実行委員長のあいさつに続いて、各地の9条の会から報告がありました。

### 田村武夫実行委員長のあいさつ

憲法前文に世界に例のないメッセージが書かれています。それは、前文の中段に「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」と書かれ、これをもって、国連憲章の申し子としての評価を得ており、全世界にむけての誇りです。このような世界平和を実現するために九条があります。と訴えました。

### 9条の会とうかい

主な活動を紹介、北茨城戦跡巡りで、「米国に向けた風船爆弾放流跡」、「原爆投下の予行のための模擬爆弾投下地点の石碑」など見学、6月には毎年総会をやり、ま

とめと方針を確認しました。

### 土浦9条の会

昨年の5月3日に土浦に9条の碑を建立した。土浦は予科練という特攻隊の基地があった街ですが、9条の碑ができたことは画期的なことです。毎月、交通量の多い場所で朝7時から30分スタンディングをやり、会報「つなぐ」を年4回発行しており、若い人も会の活動に協力してくれています。

### 北茨城9条の会

私が70歳台の頃は毎年講演会をやっていましたが、今は困難です。北茨城市には、偏西風を利用した「風船爆弾」を米国本土に飛ばし、爆弾を落とした歴史があります。風船爆弾放流跡に史跡を建設しました。私たちの中に9条の碑を個人で建立した会員がいます。

### 日立九条を知る会

今年の1月に一人で会を立ち上げました。鉄筆出版の「日本国憲法9条に込められた魂」という文庫本を持ってきましたので販売しますのでよろしく。この本には幣原喜重郎首相が創案して9条2項が生まれた経緯も付録として載っています。私は個人で「新しい憲法のはなし」を手作りで発行しています。無料で配りますので、子どもやお孫さんとの対話に役立ててください。

### 9条の会つくば

会報「結」を定期的に発行しています。今日は「自衛隊」の立ち位置は、どこにあるかという資料をまとめましたので、ご利用ください。

### 牛久9条の会

新婦人などの4団体と協力して活動しています。

## 研・学9条の会

日本学術会議の特殊法人化の問題を訴えました。

### 田村武夫実行委員長のまとめ

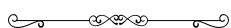
衆議院選挙の結果、国会内における憲法改正に反対する抵抗力は事実上つぶされた。憲法改正の発議は避けられない。高市は憲法改正の国民投票にむけて、国民の抵抗力をつぶすために、徹頭徹尾、国民を監視する体制、密告をさせる体制づくりに入りました。すなわち、反スパイ防止法、国家情報会議・国家情報局設置法、国旗損壊罪規定の制定で、国民に沈黙させ、反対運動を起こさせない悪法の成立を狙っています。このような動きに対峙して、圧倒的多数の9条改憲反対署名を集めることが大切です。

12時から、ステージで催しがあり、水戸工業高校のプラスバンド、水戸藩 YOSAKOI 連、ヒューマンファーマーズが出演しました。

### 対談講演「わたしの明日を守る作戦会議」

午後から「わたしの明日を守る作戦会議」のテーマで、山添拓参議院議員と高良さちか参議院議員が事前に受けた質問に答える形式で対談講演がおこなわれました。

対談はフェスティバル実行委員会事務局長の谷萩陽一弁護士が司会をして、お二人に質問をして、二人が答える形式で進められました。



**Q1:** 今、アメリカがとんでもない戦争を仕掛けている情勢ですけども、日本政府が何もアメリカには言わない。日本政府のこの態度、どうぞ覧になってますでしょうか。

#### **A1:** 山添議員

攻撃が始まった当初からはっきり現れていたことですが、イランに対しては非難をし、核開発許されない。その一方でアメリカに対しては、一言も批判をしていないというのが、日本政府の、そして高市首相の態度です。これから訪米してトランプさんに会う以上は前もって非難できないと、こういうことなんでしょうかね。あの法的評価をしないっていうことがいかに異常かと。

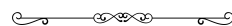
沖縄をはじめ、在日米軍基地からも米軍が中東に派遣されて、それをもう容認しているわけですから、これは本当に私たち、こんな戦争に抗議しないどころか、加担するというのでいいのかと。この声を改めてあげな

くちやいけないと思うんですね。

#### **A1:** 高良議員

今、沖縄では、高市さんが、なかなかトランプ政治の、このイラン戦争に対して、きちんとした態度を取らないということについて、とても大きな問題だという声が上がっています。それはやはり在日米軍基地から派遣をする、そういう事態になっていることが、日本の国益、私たちの命や私たちの国土の攻撃につながってしまうのではないかという恐怖があるからです。

直接トランプに対して声を上げないだけではなくて、日米安全保障条約上の自国が負うべき責務もしっかりと果たさない。事前協議をして、こういう戦争に基地は使わせないんだと本来言わなければいけないと思うんですが、日本側から事前協議をやろうともしない。これは本当に大きな問題です。単なる移動だって言ったんですね。



**Q2:** 日本の軍事化についてですが、特に沖縄が軍事化の最前線となっているという実態があると思いますので、高良さんから今の沖縄の現状についてご報告いただけます。まさに、沖縄で起きたことが日本に広がるという意味では、この茨城も百里基地に、来年中には長距離ミサイルを飛行機に配備するという計画が進んでいますので、山添さん、今どの辺が問題だと思いますか？

#### **A2:** 高良議員

沖縄で始まったことが、日本全体に広まりつつあるのが現状だというふうに思っております。

日本の軍事化の最前線は沖縄で、石垣や与那国や宮古といった沖縄の島々では、戦時にはその土地を使って戦争するので、その土地の人たちは島の外に逃げてほしいということを言われている。

沖縄は米軍基地のイメージが多いと思うんですが、今の軍拡の流れの中で自衛隊の駐屯地も増強をしていて、自衛隊基地を最前線として戦える状況を今作りつつあるということです。

軍事費にどんどんお金をつぎ込んでいくという。皆さん、軍事費が多くなって安全になったことってありますか？ ないんですね。軍事費を高めても高めても、安保のジレンマに陥って、結局のところは国民は豊かにならないけれども、軍事的な緊張ばかりが高まっている。

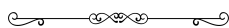
#### **A2:** 山添議員

全部問題なので、なかなか難しいところもあります

が、武器輸出の全面解禁、これはちょっと大きなターニングポイントと言えるのではないかと思います。戦争を広げないために、武器の供給国にならない。それは平和国家・憲法九条を持つ国としての当然の国際貢献のあり方として、そういう姿勢をとってきたと思います。

ところが今、政府は「我が国にとって望ましい安全保障環境のために武器輸出を行うんだ」と言っております。要するに、戦争にならないようにするために、同志国を増やすために武器を輸出するのだと言っています。平和のために武器輸出はしないとやってきたのが、今後は平和のために武器を輸出すると言っています。まあ、私は理解できないですね。

武器を提供し、供給していくということは、戦い続けられるようにするっていうことに他なりません。今度のイランへの攻撃でも、ミサイル在庫がかなり減ってしまっているというんですね。パトレットはすでにアメリカにも輸出をしております。ということは、メイドインジャパンの兵器がイラン攻撃のような国際法に違反するような攻撃に使われている可能性もあるわけです。少なくとも在庫を支えていますから、間接的にはもう私たちの国が作った兵器が、あの無謀な戦争を支えているという事態は現実になっています。



Q3～Q6 長文になるので省略します。興味のある方はこちらをご覧ください。

YouTube:

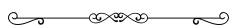


<https://www.youtube.com/watch?v=X4AqAfC3QaQ>

テキストデータ:



<http://peace.arrow.jp/tsc/data/ConstitutionFes2026.txt>



**Q7:** 最後に一言ずつですね。私たちが何をすべきか、何を自分たちですべきかといったことも含めて、お二人から皆さんに訴えたいことを一言ずつおねがいします。

**A7:** 山添議員

東京有明防災公園でも大規模な憲法集会が開かれ、この茨城でも、そして全国各地で多くの人が集い、語り、憲法を守り、生かそうと立ち上がっている日です。私はそこにとっても大きな希望があると思います。高市政

権の知見に対して全体的におかしいと、そして憲法を守れと立ち上がっている一人一人がいます。それは大いに希望ですから、ぜひその輪を広げていくことを心から呼びかけたいと思うんです。何か一つでも行動することが今大事だと思うんです。それは SNS で発信することでも、街頭でスタンディングをすることでも、署名を集めることでも何でも構わないんですが、ぜひ求めたいなど。

誰か一人仲間を増やしませんか。みんなが一人ずつ仲間を増やして、これまで行動してない、これまで立ち上がってない、これまでは関心があるかないか分からないっていう人、誰か一人を動かして行動に立ち上がるってことになれば、それが大きく広がれば、うんと動かしていく力になるんじゃないかと思います。これまでも取り組んでこられた皆さんですが、もう一歩踏み出すということを私は心から呼びかけたいなと思っております。

今日、憲法記念日です。憲法の条文の中で九条はもちろん好きなんですけど、私は憲法 12 条という条文が結構好きです。この憲法が保障する自由と権利は、国民の不断の努力によって守られるものだ、こういうことを書いた条文です。憲法は確かに素晴らしい条文をたくさん持っていますが、それがあままでは直ちに効力を発揮するわけではない。やっぱり一人一人の立ち上がる国民がいて、この憲法を守り生かすために行動する一人一人がいて、初めて大きな力を発揮するものだと思うんです。行動する一人一人として共に頑張ろうと呼びかけます。

**A7:** 高良議員

何名もの方が今年の 9 月にある沖縄県知事選挙のことを心配してくれています。あんな離れた沖縄の県知事選挙のことを本当に心配してくださってありがとうございます。

沖縄はですね、辺野古の新基地だけではなくて、その元になっている普天間飛行場の危険性の除去、極東最大の嘉手納飛行場、その他にも多くの米軍基地があつて、たびたびに政府に対して、国に対して、沖縄の立場でしっかりと抵抗していく、そんな知事を持たなければいけないという宿命を負っている場所です。

今の状況はとても厳しいです。この間の衆議院選挙、県民の声を届けてくれていた議員の皆さんが落選するという、本当に厳しい状況にあります。けれども県民の心はやはり負けていない、その直後からしっかりと原点に立ち返って戦おうとしています。

辺野古での転覆事故もあって、平和を求める声、平和教育などについても、とても大変な状況になってしまっ  
てはいます。しかし、誠実にこの転覆の問題に対しても向き合っ  
て、そしてやはり平和をつくるために、命を守っていくために、これまでの活動があったということ  
を踏まえて知事選を戦っていかなくてはなりません。

今日は憲法記念日です。山添さんの国会質問への答  
弁で、高市さんが憲法尊重擁護義務について触れている  
ところを聞いて、高市さんには何か抜けてるなど  
思った。憲法尊重擁護義務・憲法 99 条は最高法規の章  
に入っているんですね。憲法は最高法規である。憲  
法は人権を守らせる歴史ある法なんだ。だからこそ権  
力を担っている人たちは、それに従わなければならない  
という流れの中にあるのが、最高法規の条文です。

今、憲法を変えようとしている人たちというのは、憲

法をつまみ食いして、憲法全体がきちんと指し示してい  
る「人権を中心として権力の乱用を防いでいく」という  
大きな目的をわざと見ないふりをして、使いたい条文だ  
け使う。幸福追求権とか使いたいから使う。だけど、重  
要な条文はほっといちゃったり、変えたいと言ったりす  
るという状況です。

皆さん、多くの人に今の憲法を知ってもらえる、これ  
からの憲法を守っていく戦い、頑張っていきましょう。  
憲法を知れば、この法が好きになって、私たちがこの法  
を国に守らせながら、そして私たちが人権を謳歌して生  
きていくという、大きな意味をこの法の中に見出すこと  
ができると思いますので、ぜひ今日のこの作戦会議か  
ら、また気持ちを新たに共に頑張っていきたいと思  
います。



### 3.11 「さよなら原発・守ろう憲法」つくば集会

2026 年 3 月 11 日 (水) 『3.11 から 15 年』、昼休み集  
会がつくばセンター広場で開かれました。

集会のはじめに「黙とう」を行ってから、主催者を代  
表して、東海第二原発にいらぬ首都圏ネットワークつく  
ばの阿部眞庭さんが「東海第二原発から 60 キロのつく  
ばで、震災と原発事故を忘れないこと、市民の力を信じ  
て行動していきましょう」と、あいさつをしました。

続いて、集会参加者から次のような発言がありました。

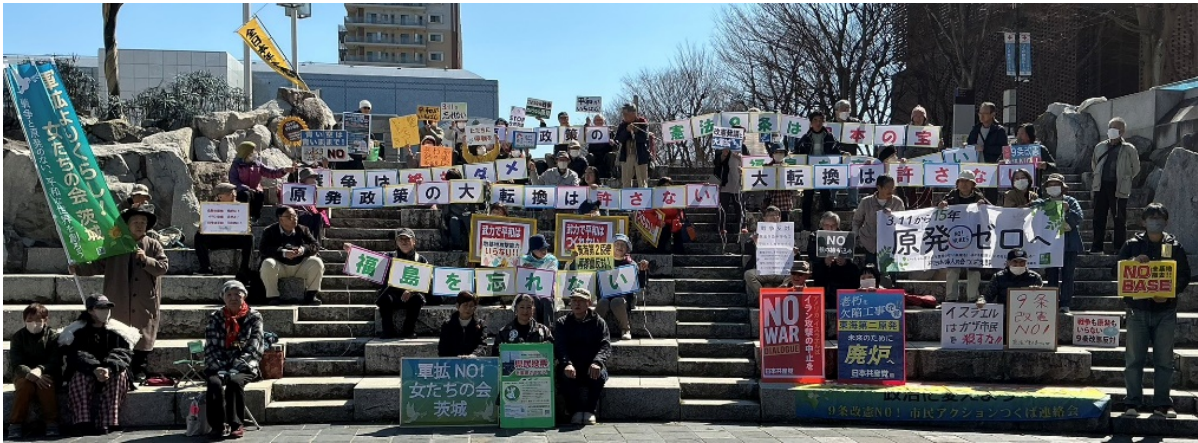
鵜沼久江さん（福島原発事故被災者、福島県双葉町  
から埼玉県加須市に避難）は、「当時、私は福島原発か  
ら 2.5km に酪農家として住んでいました。原発事故の  
ため酪農を放棄して、埼玉県に避難しました。避難して  
5 年目に、夫が食道がんで亡くなりました。私自身も心  
筋梗塞になりました。そこで入院したときに、福島から  
非難者の死亡原因は、8 割以上が心筋梗塞・脳梗塞・が  
んでであると看護師さんから聞きました。こうなってい  
るのは放射能による影響でないか？」と話し、被ばくによ  
って今後起こるかもしれない不安を訴えていました。

大名章文さん（東海村在住、東海第 2 原発再稼働反  
対運動）は、「昨年の東海村村長選挙に立候補しました。

残念ながら、惨敗しました。今回の選挙は、今までと違  
い、村の空気が大きく変わりました。政治が再稼働へ舵  
をきってから、再稼働反対と言えない空気になったの  
でないだろうか。投票率も下がりました。選挙期間中、  
陰ながら応援してくれる人に励まされました。」

石上俊雄さん（憲法 9 条の会つくば）は、「3.11 集会  
ですが、なぜ憲法の話をするのか？ それは人間の命を  
守ることに関わっているからです。世界情勢は、国際  
法に違反する先制攻撃が行われ、米国・イスラエルとイ  
ランの戦争が続いています。トランプの無法行為に対  
して高市総理は批判することもせず、媚びを売り、防衛  
予算を GDP 比 2 % 以上に引き上げ、米国から武器の爆  
買いしているのです。先の総選挙では自民党が単独で 3  
分の 2 以上を占め、憲法の改憲・発議が政治課題になっ  
てきました。現憲法を守るために力を合わせましょう」  
と訴えました

そして、集会アピールを確認した後、約 70 名の参加  
者は会場周辺をパレードし「さよなら原発・守ろう憲  
法」をアピールしました。



## 集会アピール

15年前の3月11日、東北地方太平洋沖を襲った巨大地震によって、福島第一原発は炉心溶融などの重大事故を起こし、大量の放射性物質を放出しました。この原発は廃炉に向けた計画はありますが、廃炉完了の目途は全く立っていません。

政府は福島原発事故を忘れた原発回帰の転換をすすめようとしています。世界有数の地震・津波大国の日本で原発を稼働できる場所はありません。私たちは原発再稼働・増設の中止と東海第二原発の廃炉、再生可能エネルギーへの転換を強く求めます。

平和と暮らしの問題では、米国とイスラエルがイランに対して大規模な先制攻撃を行い、最高指導者を殺害し市民にも犠牲を出しています。私たちは両国の暴挙を断固として糾弾し、ただちに交渉による問題解決に立ち戻ることを要求します。

一方、高市自民維新連立政権は、百里基地などへの長射程ミサイルの配備や、武器輸出の全面解禁憲法9条改悪など「戦争国家」づくりを推進する危険な政策を打ち出しています。

実質所得が漸減する中で、国民は物価高騰で悲鳴をあげています。税金は戦争の準備にではなく暮らしの充実にこそ使うべきです。私たちは憲法と平和、いのちと暮らしを守る政治への転換を断固として求め続けます。

3・11から15年

さよなら原発！ 守ろう憲法！ つくば昼休み集会&パレード 参加者一同

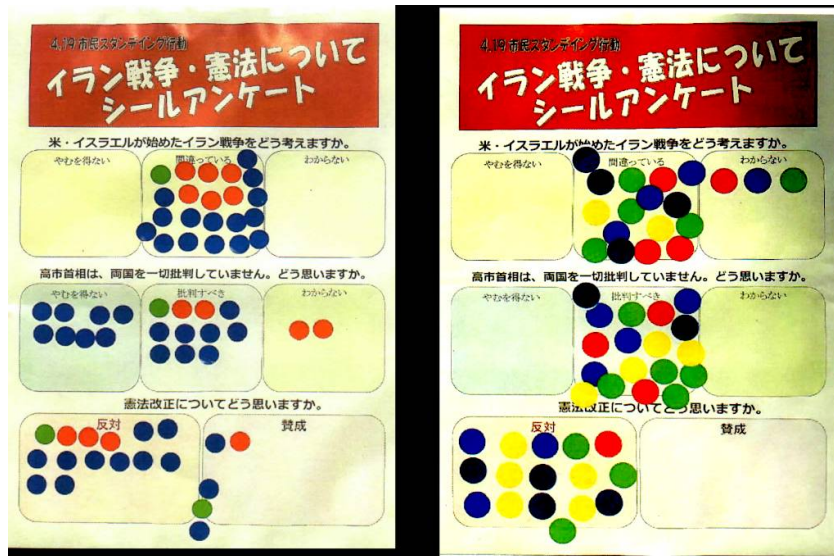
## 4.19 市民スタンディング行動

4月19日（日）13:00～14:00 つくばセンター広場にて、9条改憲 NO!市民アクションつくば連絡会の呼びかけで『市民スタンディング行動 NO MORE WAR』をやりました。

米国とイスラエルのイラン攻撃の惨状がニュースで大きく報道される中、毎月19日に10数人で行ってき

たスタンディングが、この日は60人余も集まりました。

当日は、“デモカレンダー”を見て参加した若者が6割以上を占めました。戦争反対、憲法守れのパネルを掲げ、また、歩行者にシール投票を呼びかけて「軍事力の拡大？、9条改憲？」にYes/Noでシールを張ってもらいました。



シール投票結果: イラン戦争は間違っている、高市首相はアメリカ・イスラエルを批判すべき、憲法改正に反対が圧倒的多数を獲得しました。

### デモカレンダーについて

デモや集会の情報を集め、案内するサイトが立ち上がりました。サイトを立ち上げたのは福岡在住のルーシーさんです。

ルーシーさんは、自分が1人でデモに行くことを考えた時に「ほかに来る人がいるかな?」と不安になるので、初めてデモに参加する人の背中を押せたらと思い、デモカレンダーのサイトを立ち上げたそうです。サイトには、デモに参加できる人が押せる「行きます」ボタンと、行けないけど連帯する気持ちを表示する「応援してます」ボタンを備えました。「行きます」の人数を見て参加を決めたと声が寄せられ、声を上げた人にデモカレンダーが必要とされていたことが数字として実感できます。



<https://democalendar.jp/>